

『社会学研究』第62号(1995年7月31日)

小特集「「転換期」と社会学カテゴリー」

- ・「マルクス歴史認識の視座と方法 『要綱』における唯物史観「定式化」のプロセス」
(永野由紀子)
- ・「都市社会学の空間論的転成の方向 鈴木広氏の批判に答えて」(吉原直樹)
- ・「「転換期」における東北農民の家」(細谷昂)

論説

- ・「合理的個人はなぜ投票するのか 「無投票のパラドックス」とモデルの展開」(村瀬洋一)
- ・「社会統合の論理とシステム統合の論理」(水上英徳)